

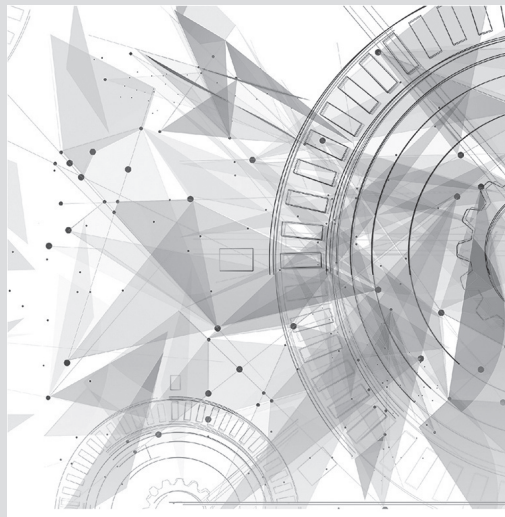
# テトラ・エクイティ

追加型投信／海外／株式

日経新聞掲載名：テトラ

2024年10月16日から2025年10月15日まで

第 **6** 期 決算日：2025年10月15日



## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の株価指数先物取引を機動的に活用することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**  
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 当期の状況

|           |           |
|-----------|-----------|
| 基準価額(期末)  | 7,945円    |
| 純資産総額(期末) | 12,565百万円 |
| 騰落率(当期)   | -5.1%     |
| 分配金合計(当期) | 0円        |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

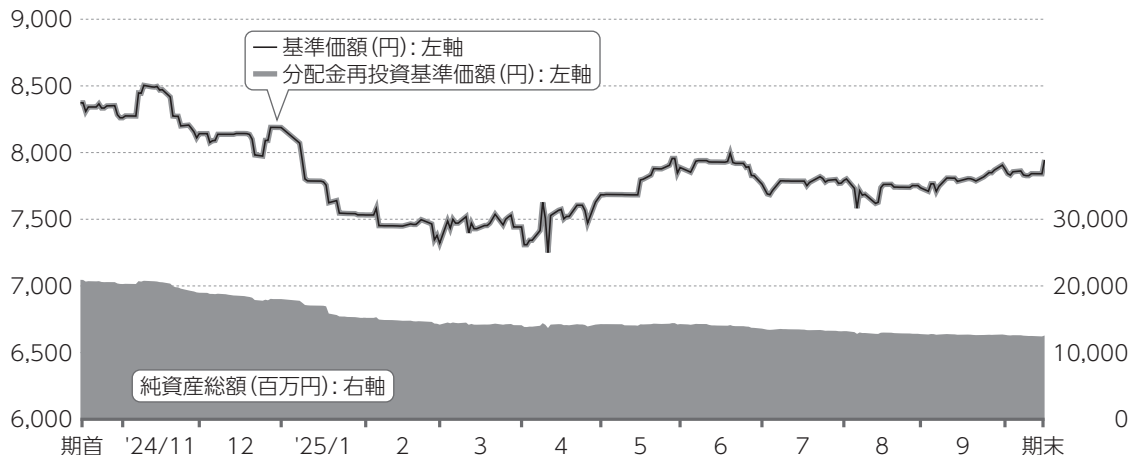
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

# 1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

|     |                          |
|-----|--------------------------|
| 期首  | 8,373円                   |
| 期末  | 7,945円<br>(既払分配金0円(税引前)) |
| 騰落率 | -5.1%<br>(分配金再投資ベース)     |

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国株式先物等に投資しました。

### 下落要因

- 米国の関税政策や外交政策に伴う市場の混乱や中東の地政学リスクの高まりなどに振られやすい株価トレンドを月中戦略や月末戦略、日中戦略でうまく捕捉できなかったこと

## 1万口当たりの費用明細(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

| 項目          | 金額   | 比率      | 項目の概要  |
|-------------|------|---------|--|
| (a) 信託報酬    | 59円  | 0.759%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)<br>期中の平均基準価額は7,810円です。 |
| (投信会社)      | (24) | (0.308) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価                                     |
| (販売会社)      | (34) | (0.429) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価         |
| (受託会社)      | (2)  | (0.022) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価                   |
| (b) 売買委託手数料 | -    | -       | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数                          |
| (株式)        | (-)  | (-)     | 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料                        |
| (先物・オプション)  | (-)  | (-)     |  |
| (投資信託証券)    | (-)  | (-)     |  |
| (c) 有価証券取引税 | -    | -       | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数                          |
| (株式)        | (-)  | (-)     | 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金                         |
| (公社債)       | (-)  | (-)     |  |
| (投資信託証券)    | (-)  | (-)     |  |
| (d) その他費用   | 0    | 0.005   | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数                              |
| (保管費用)      | (-)  | (-)     | 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用      |
| (監査費用)      | (0)  | (0.005) | 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用                                 |
| (その他)       | (-)  | (-)     | その他:信託事務の処理等に要するその他費用                                  |
| 合計          | 60   | 0.764   |  |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

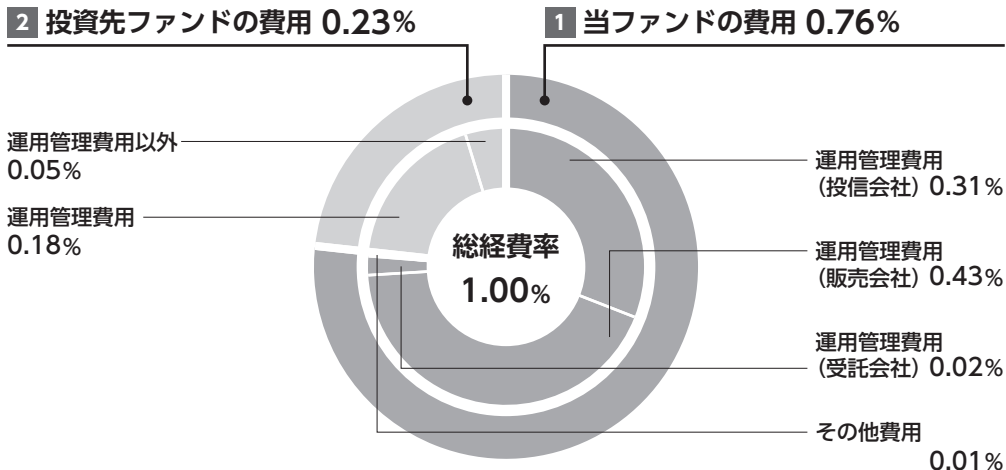
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



## 参考情報 総経費率(年率換算)



|                              |              |
|------------------------------|--------------|
| <b>総経費率(1 + 2)</b>           | <b>1.00%</b> |
| <b>1 当ファンドの費用の比率</b>         | <b>0.76%</b> |
| <b>2 投資先ファンドの運用管理費用の比率</b>   | <b>0.18%</b> |
| <b>2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率</b> | <b>0.05%</b> |

※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※**2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算した経費率です。そのため、実際に投資しているシェアクラスの経費率とは大きく異なる場合があります。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※投資先ファンドでは、米国株式市場におけるトレンドを捉えることを目的とする参照指数の損益を享受する担保付スワップ取引を行います。この参照指数の損益は、参照指数に関する戦略維持費用(年0.80%)および戦略取引費用\*を控除したものとなります。ただし、**2**の費用には、これらの参照指数に関する費用は含まれていません。

\*戦略取引費用はトレンド戦略のポジションを構築するために発生する取引コスト相当額であり、市場

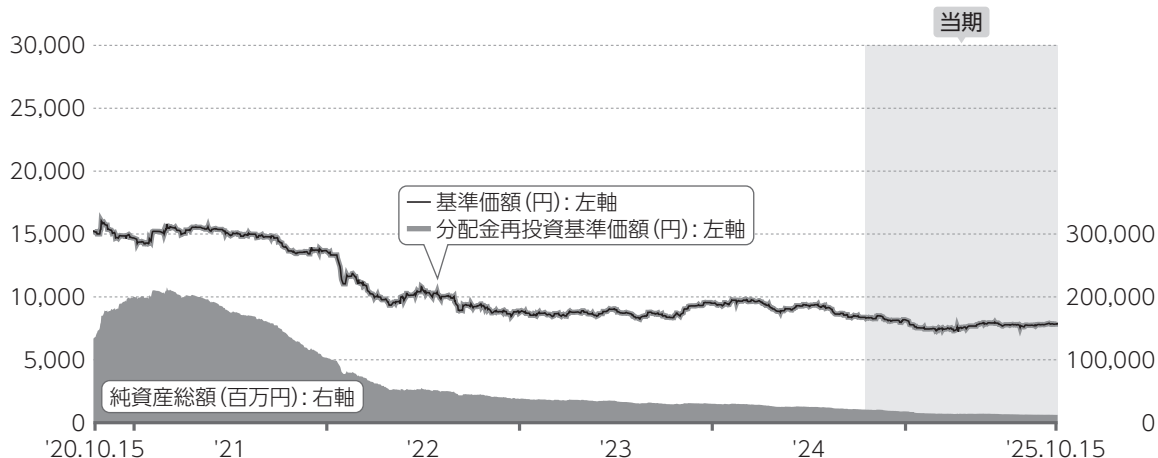
環境に応じてトレンド戦略が構築するポジションは変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.00%です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について(2020年10月15日から2025年10月15日まで)

## 最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2020年10月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

|               |       | 2020.10.15<br>決算日 | 2021.10.15<br>決算日 | 2022.10.17<br>決算日 | 2023.10.16<br>決算日 | 2024.10.15<br>決算日 | 2025.10.15<br>決算日 |
|---------------|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額          | (円)   | 15,291            | 13,950            | 9,370             | 8,360             | 8,373             | 7,945             |
| 期間分配金合計(税引前)  | (円)   | —                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 | (%)   | —                 | -8.8              | -32.8             | -10.8             | 0.2               | -5.1              |
| 純資産総額         | (百万円) | 133,390           | 141,942           | 44,800            | 29,299            | 20,912            | 12,565            |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 投資環境について(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

## 米国株式市場は上昇しました。

11月はトランプ氏の大統領選挙勝利を受けて株式市場は堅調に推移しましたが、12月にはF R B(米連邦準備制度理事会)の今後の利下げ期待後退によりまちまちな展開となりました。2025年は、C P I(消費者物価指数)など物価統計の落ち着きや良好な決算発表などにより株式市場は上昇して始まりました。しかし、2月から4月にかけて、トランプ政権による相互関税や通商政

策が市場の波乱要因となり、中東情勢の不透明感や景気減速を示す経済指標の発表により株価は軟調に推移しました。5月から10月にかけては、米中貿易協議の進展期待やインフレ懸念の後退、F R Bの利下げ期待、良好な企業業績などが下支えとなり、株式市場はハイテク株を中心に堅調に推移しました。

## ポートフォリオについて(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

## 当ファンド

[パッシブ・トラストⅡ-USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て)]の投資比率を高位に保ちました。

## パッシブ・トラストⅡ-USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て)

<月次戦略(月初戦略、月中戦略、月末戦略)>

トランプ政権による相互関税や通商政策が市場の波乱が高まる中、月初戦略では、リスクシグナルが点灯した局面では、機動的にポジション構築を制限して損失を抑制しながら株価上昇を捕捉して収益化できました。しかし、市場の資金フローによる株価トレンド以上に、関税や中東情勢などに関連するヘッドラインを受けた株価変動が

大きくなる展開が引き続き散見され、月中戦略と月末戦略は苦戦を強いられました。

#### <日中戦略>

2025年4月前半の米国関税政策に伴う市場変動時などでは、ポジションを機動的に構築してプラス寄与する場面もありましたが、関税政策の動向や中東情勢の緊迫化などを背景として米国取引時間の開始から株価が大きく変動した後、日中の株価トレンドが継続しにくい場面が散見され、日中戦略は苦戦を強いられる傾向が見られました。

## マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について(2024年10月16日から2025年10月15日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目        | 第6期     |
|-----------|---------|
| 当期分配金     | 0       |
| (対基準価額比率) | (0.00%) |
| 当期の収益     | -       |
| 当期の収益以外   | -       |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,766   |

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金(税引前)」の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「パッシブ・トラストⅡ－USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て)」の投資比率を高位に保ちます。

### パッシブ・トラストⅡ－USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て)

トランプ政権や金融政策の動向に影響を受けやすい相場展開が見られますが、今後はインフレ鎮静化によって金融政策の不透明感が後退し、市場のトランプ政権の政策

に対する緊張感が緩和してくことで、本戦略が着目する株式市場の資金フローによる株価トレンドへの影響度は回復していくことが期待されます。一方で、リスクセンチメント(投資家心理)に大きく影響するヘッドラインや市場構造変化等に関しては引き続き注視していく必要があります。

### マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。  
(適用日：2025年4月1日)

## 交付運用報告書の電磁的方法による提供(電子交付)の推進について

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われました。受益者の皆さまへの交付運用報告書の提供に関する規定について、従来は書面交付を原則としていましたが、書面交付または電磁的方法(電子メールへのファイルの添付、販売会社等のホームページにアクセスして閲覧等)による提供のいずれかに変更されました。

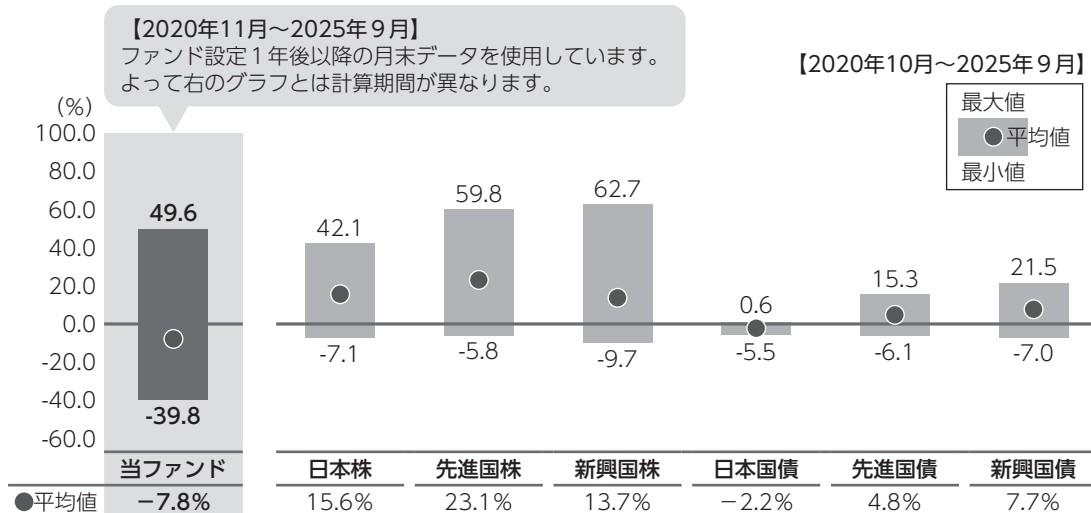
交付運用報告書を電磁的方法で提供することにより、書面の印刷および配送にかかる期間が短縮され、受益者の皆さまが、より早期に交付運用報告書をご覧いただくことや、時間や場所を問わずにご覧になることが可能になると考えられます。また、ペーパーレス化が推進されることにより、森林資源の保護や印刷・配送に伴う二酸化炭素の排出量の削減につながることを期待されます。

今後、電磁的方法による提供を実施することに関し、受益者の皆さまに事前告知等が行われますが、希望される場合には引き続き書面交付をすることも可能です。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法による交付運用報告書の提供を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## 4 当ファンドの概要

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 商 品 分 類               | 追加型投信／海外／株式  |
| 信 託 期 間               | 2019年11月6日から2029年10月15日まで  |
| 運 用 方 針               | 投資信託証券への投資を通じて、実質的に米国の株価指数先物取引を機動的に活用することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。   |
| 主 要 投 資 対 象           | 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。<br><b>パッシブ・トラストⅡ－USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て)</b><br>担保付スワップ取引および日本の公社債<br><b>マネー・トラスト・マザーファンド</b><br>円貨建ての短期公社債および短期金融商品  |
| 当 ファ ン ド の<br>運 用 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■米国の株価指数先物取引を機動的に活用します。</li> <li>■米国株式市場の「4つのトレンド」に着目し、トレンドを捉える4つの戦略の組合せにより収益の獲得を目指します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>   |
| 組 入 制 限               | ■外貨建資産への直接投資は行いません。  |
| 分 配 方 針               | <ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回(原則として毎年10月15日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。<br/>(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div> |

## 5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

### 各資産クラスの指数

|      |  |
|------|--|
| 日本株  | <b>TOPIX (東証株価指数、配当込み)</b><br>株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。                                      |
| 先進国株 | <b>MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b><br>MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。                                    |
| 新興国株 | <b>MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)</b><br>MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。                                      |
| 日本国債 | <b>NOMURA-BPI (国債)</b><br>野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。                               |
| 先進国債 | <b>FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース)</b><br>FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。                         |
| 新興国債 | <b>JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)</b><br>J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

## 6 当ファンドのデータ

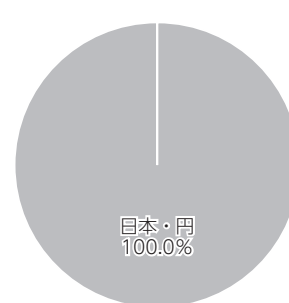
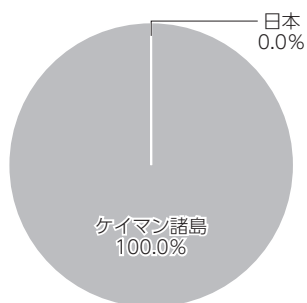
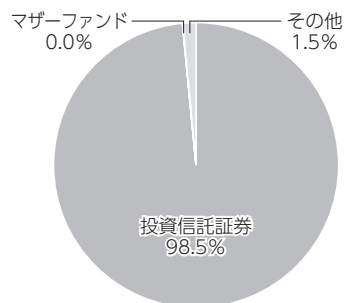
### 当ファンドの組入資産の内容(2025年10月15日)

#### 組入れファンド等

| 銘柄名   | 組入比率  |
|---|-------|
| パッシブ・トラストⅡーUSエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て) | 98.5% |
| マネー・トラスト・マザーファンド                            | 0.0%  |
| コールローン等、その他                                 | 1.5%  |

※比率は、純資産総額に対する割合です。

#### 資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

#### 純資産等

| 項目             | 第6期末<br>2025年10月15日 |
|----------------|---------------------|
| 純資産総額 (円)      | 12,565,057,106      |
| 受益権総口数 (口)     | 15,815,869,237      |
| 1万口当たり基準価額 (円) | 7,945               |

※当期における、追加設定元本額は15,069,284円、解約元本額は9,174,208,720円です。

## 組入上位ファンドの概要

## パッシブ・トラストⅡ－USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド(Bクラス、円建て)(2023年10月1日～2024年9月30日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「パッシブ・トラストⅡ－USエクイティ・マルチ・モメンタム・ファンド」の情報を記載しています。

## 基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

## 組入上位銘柄

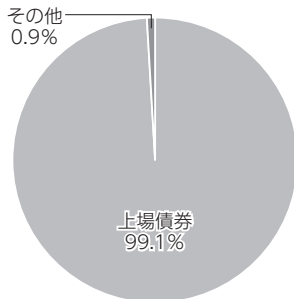
(基準日：2024年9月30日)

※入手できるデータがないため記載していません。

## 1万口当たりの費用明細

※単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。

## 資産別配分(純資産総額比)



※国別配分、通貨別配分については、入手できるデータがないため記載していません。

※当ファンドは上記の他に指数スワップ取引を1.1%行っています。

※基準日は2024年9月30日です。